

日常診療における顔面神経麻痺について

明石市・永本医院 永本 浩（医師）

末梢性顔面神経麻痺は、日常診療において耳鼻咽喉科に限らず内科・外科・眼科・歯科等でもしばしば出くわすが、Bell 麻痺の如く放置していても自然治癒するものもある。しかし Hunt 症候群のように予後不良で患者の醜貌をきたし後遺症を残し、QOL に大きな影響を与えることもある。第 7 脳神経である顔面神経は顔面の表情筋、涙の分泌、舌の味覚、鐙骨筋反射等に関係しているが、ここでは末梢性顔面神経麻痺として Bell 麻痺＝単純疱疹、Hunt 症候群＝帯状疱疹という Clear cut に説明できない ZSH (Zoster sine herpete) 無疱疹帯状疱疹がある点について分かり易く説明する予定である。